

The background of the slide is a light gray gradient with several realistic water droplets of various sizes scattered across it. The droplets have highlights and shadows, giving them a three-dimensional appearance. The main text is centered on the slide.

荒療治

シリーズ～チェンジ～

2016/7/24

預言者ヨナの時代

- ヨナはヤロブアム二世が治める北イスラエル王国で活動していた(前792—753年)
 - 「ガト・ヘフェル出身のその僕、預言者、アミタイの子ヨナ」 列王記下14:25
- アッシリア帝国の脅威にさらされていた
 - 前722年に北イスラエル王国は滅ぼされる
- 主はそのアッシリアの首都ニネベに行って、預言せよ、と命じられた
 - 主の言葉がアミタイの子ヨナに臨んだ。「さあ、大いなる都ニネベに行ってこれに呼びかけよ。彼らの悪はわたしの前に届いている。」1:1-2



アッシリア帝国

アッシリア帝国
B.C. 824~612

Copyright by C. S. HAMMOND & CO., N.Y.



アッシリア帝国—B.C. 824 アッシリア帝国—B.C. 612

ギリシアの地中海世界の植民地化はこの時代に始まった。

イスラエル王国はB.C. 721に滅ぼされた。

アッシリア人はB.C. 671-52にエジプト人を征服した。

カルデア 有史上の古代海岸線。だが最近の研究は現在の海岸線に非常に近いとする。

メソポタミアのバビロニア人はB.C. 612にアッシリア帝国を滅ぼした。

地図12

主の命令に反抗したヨナ

- ヨナはアッシリアとは反対方向のタルシシュ(スペイン)に向かう船に乗った
 - このままニネベを放っておいて滅ぼそうと考えた!
- 嵐が船を襲ったがヨナは船底で寝込んでいた
 - ヨナはこのまま死んでも良いと思っていた?
- 海に投げ込まれたヨナ
 - 嵐の原因を探るべくくじを引くとヨナに当たった
 - ヨナは、自分が「海と陸とを創造された天の神」を怒らせたせいだから、海に投げ入れよ、と言った
 - アッシリアを助けるくらいなら死んだ方がましだった
 - ヨナは海に投げ込まれた



荒療治!

• 主は巨大な魚にヨナを呑み込ませた

- さて、主は巨大な魚に命じて、ヨナを呑み込ませられた。ヨナは三日三晩魚の腹の中にいた。2:1

• 魚の腹の中でヨナは苦しみ祈った

- あなたは、わたしを深い海に投げ込まれた。潮の流れがわたしを巻き込み／波また波がわたしの上を越えて行く。2:4
- 大水がわたしを襲って喉に達する。深淵に呑み込まれ、水草が頭に絡みつく。2:6

• ヨナは大切なことに気づき、悔い改めた

- わたしは思った／あなたの御前から追放されたのだと。生きて再び聖なる神殿を見ることがあろうかと。2:5
- 母国を助けることだけを考えていたが、自分が主に見捨てられるかもしれないことに気づいた!

ニネベに赴いたヨナ

- **主はヨナを赦し、陸地に戻された**
 - 主が命じられると、魚はヨナを陸地に吐き出した。2:11
- **ヨナはニネベに赴き、悔い改めるよう叫んだ**
 - ヨナはまず都に入り、一日分の距離を歩きながら叫び、そして言った。「あと四十日すれば、ニネベの都は滅びる。」3:4
- **ニネベの人々は王様から庶民まで悔い改めた**
 - すると、ニネベの人々は神を信じ、断食を呼びかけ、身分の高い者も低い者も身に粗布をまとった。3:5
- **主はニネベを滅ぼすのを思いとどまれた**
 - 神は彼らの業、彼らが悪の道を離れたことを御覧になり、思い直され、宣告した災いをくださるのをやめられた。3:10

2度目の反抗

• ヨナは怒り、主に訴えた

- 「ああ、主よ、わたしがまだ国にいましたとき、言ったとおりではありませんか。だから、わたしは先にタルシシュに向かって逃げたのです。わたしには、こうなることが分かっていた。…」4:2

• ヨナは再び死を願った

- 「主よどうか今、わたしの命を取ってください。生きているよりも死ぬ方がましです。」4:3

• 主は、ヨナの怒りは本当に正しいのか?と問われた

- 主は言われた。「お前は怒るが、それは正しいことか。」4:4

• ヨナは町外れに小屋を建て、ニネベが滅びるのを待った

優しいチェンジ

- 主が“とうごま”を生やして日陰をつくられたので、ヨナは喜んだ
 - 頭の上に陰をつくったので、ヨナの不満は消え、このとうごまの木を大いに喜んだ。4:6
- 翌日、主はとうごまの木を枯れさせなので、熱さでヨナは死を願った
 - ヨナはぐったりとなり、死ぬことを願って言った。「**生きているよりも、死ぬ方がましです。**」4:8
- 主は、ヨナの怒りは本当に正しいのか？と問われた
 - 神はヨナに言われた。「お前はとうごまの木のことで怒るが、それは正しいことか。」彼は言った。「もちろんです。怒りのあまり死にたいくらいです。」4:9



主の教え

- ヨナがとうごまを惜しむように、主なる神はニネベの民を惜しまれる
 - すると、主はこう言われた。「お前は、自分で労することも育てることもなく、一夜にして生じ、一夜にして滅びたこのとうごまの木さえ惜しんでいる。それならば、どうしてわたしが、この大いなる都ニネベを惜しまずにいられるだろうか。そこには、十二万人以上の右も左もわきまえぬ人間と、無数の家畜がいるのだから。」4:10-11

ヨナ書の教え

- **主は全人類を等しく大切に思われる**
 - 神は、すべての人々が救われて真理を知るようになることを望んでおられます。テモテ一2:4
 - 徹底したイスラエル中心主義の時代に、まさかの敵国を救う話!
- **主は一人の人をチェンジするためにあらゆる手段を用いられる**
 - 嵐・巨大魚・とうごま・灼熱
- **固まった考え方(思想・信念など)をチェンジするのは難しい<みんな持っている!>**
 - 「お前は怒るが、それは正しいことか。」
 - 一人の人の考えを変えることは12万人が悔い改めるより難しい?